

“経営に知恵と革新”

令和6年7月1日発行（隔月発行）Vol.777号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2024年7月・8月号



第70回定時社員総会

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

会員の皆様の益々のご健勝 ご活躍を祈念いたします

令和6年 盛夏

一般社団法人 日本経営士会
会長 鈴木 和男

副会長	岩井 美喜夫
専務理事	近藤 安弘
業務執行理事	高橋 直也
業務執行理事	児玉 充晴
業務執行理事	石原 群司
東日本ブロック理事	石黒 基
中日本ブロック理事	大藏 充夫
西日本ブロック理事	小原 啓子
監事	春原 和夫
監事	竹内 一登

北海道支部長	須川 清一
東北支部長	山下 健二
北関東支部長	棄山 一宏
千葉支部長	関口 恒
埼玉支部長	江上 範博
東京支部長	戸田 裕之
南関東支部長	伏見 靖
中部支部長	江口 敬一
近畿支部長	國廣 好行
中国支部長	小原 啓子
四国支部長	妹尾 浩二
九州支部長	西尾 廣幸
台湾特別支部長	蔡 有義

INDEX

第70回定時社員総会報告	2
2024年度「研究論文大募集」	5
事業部・委員会活動	
資格審査委員会・説明会開催	7
スマートM&Aビジネスを構築する（4）	8
M&A支援アドバイザー（仮称）育成講座開催のお知らせ	9
情報戦略委員会の取り組み	10
SX・GXグループ（SDGs事業部）活動報告	11
プロ講師、プロコンサル育成制度構築に向けて	15
AMCJクロッシング 活動報告	16
SMCセミナー／次世代リーダー道場のご案内	17
法人会員事業部活動報告	18
MPP委員会活動報告	20
支部活動報告	
北海道支部 2024年度支部総会・講演会開催	25
東北支部 活動報告	26
北関東支部 2024年度北関東支部総会報告	27
埼玉支部 活動報告	28
千葉支部 活動報告	29
東京支部 東京支部総会報告	30
南関東支部 支部長就任挨拶	31
中部支部 中部支部最近の活動報告	32
近畿支部 活動報告	35
中国支部 会員増強プロジェクト開始	36
インフォメーション	37

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）

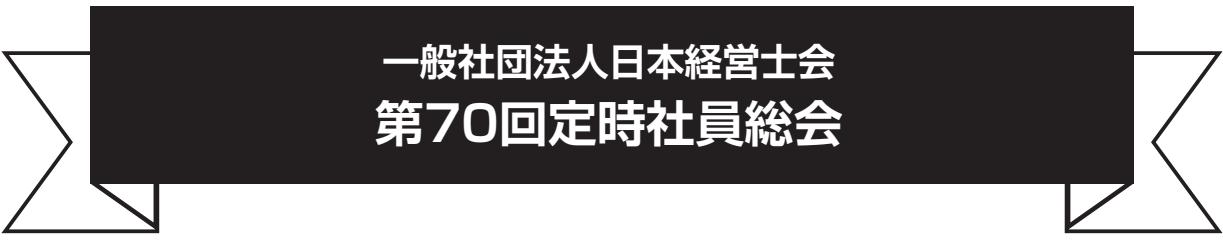
発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F

Tel : 03-3239-0691 Fax : 03-3239-1831

<https://nihonkeieishikai.com>

表紙：第70回定時社員総会



一般社団法人日本経営士会 第70回定時社員総会

開催日時：令和6年6月28日（金） 15：30～16：54

開催場所：スクワール麹町 3階 華の間（ZOOM配信あり）

東京都千代田区麹町6-6 電話 03-3234-8739

出席理事：鈴木和男会長、岩井美喜夫副会長、近藤安弘専務理事、
高橋直也業務執行理事、児玉充晴業務執行理事、豊政茂業務執行理事、
竹俣大介ブロック理事、大蔵充夫ブロック理事

当日欠席理事：三品富義ブロック理事（病気療養中の為、書面議決行使済）

出席監事：廣瀬典仁監事、春原和夫監事

社員総数と出席者数：社員総数 634名（過半数：318名） ※総議決数634個

出席社員数 374名 ※議決数374個

（内訳） 本人出席数 53名 ※議決数53個

委任状提出者数 170名 ※議決数170個

書面議決権行使者数 151名 ※議決数151個

議 案：第一号議案 令和5年度事業報告に関する件

第二号議案 令和5年度決算承認の件

監査報告

第三号議案 令和6、7年役員選任に関する件

第四号議案 令和6年度事業計画

第五号議案 令和6年度収支予算書

議長及び議事録署名人の選任について：

鈴木会長の挨拶のあと、鈴木会長の指名で、近藤専務理事より成立要件について定款第20条第1項の規定により、総会成立に必要な社員数の過半数以上の出席を得て、第70回定時社員総会は有効に成立した旨が告げられた。

定款第18条に基づき、鈴木会長が議長に就任し開会を宣言した。

また、定款第22条第2項の規定により議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、出席者は異議なく賛成し、議事録署名人として東京支部島影教子社員と埼玉支部江上範博社員が指名され、被選任者もこれを承諾した。

議案決議の結果（第一号～第五号）

第一号議案 令和5年度事業報告に関する件

第二号議案 令和5年度決算承認の件

監査報告

鈴木議長指名で、近藤専務理事が第一号議案令和5年度事業報告に関する件、第二号議案令和5年度決算承認の件について資料に沿って説明し、審議の結果、鈴木会長が第二号議案の承認を求めるところ、全会一致を以って可決された。次いで春原監事より令和5年度監査報告が行なわれた。

第三号議案 令和6、7年度役員選任に関する件

鈴木議長が決議にあたり、候補者ごとに採決を取った結果、候補者全員が賛成多数で承認可決された。

（理事9名）

高橋直也会員、児玉充晴会員、鈴木和男会員、石原群司会員、近藤安弘会員、岩井美喜夫会員、石黒基会員、大蔵充夫会員、小原啓子会員

（監事2名）

春原和夫会員、竹内一登会員

（任期満了退任理事）

豊政 茂会員、竹俣大介会員、三品富義会員

（任期満了退任監事）

廣瀬典仁会員

第四号議案 令和6年度事業計画

第六号議案 令和6年度収支予算書

鈴木議長の指名により、両議案とも議案書に基づき近藤専務理事が報告した。

以上をもって議事が終了したので、議長が閉会を宣言した。

時に16時54分であった。

尚、引き続き本部役員役職選任の臨時理事会開催のため、第三号議案で選任された新任役員は一旦離席した。

その後、総会会場に全員が戻り、鈴木新会長が出席者に役員役職の報告を行った。

役員役職は下記のとおり決定した。

会長(代表理事)：鈴木和男（東京支部）
副会長(代表理事)：岩井美喜夫（四国支部）
専務理事：近藤安弘（南関東支部）
業務執行理事：高橋直也（東北支部）、児玉充晴（千葉支部）、
石原群司（東京支部）
ブロック理事：東日本ブロック 石黒基（北海道支部）、
中日本ブロック 大蔵充夫（東京支部）、
西日本ブロック 小原啓子（中国支部）
監事：春原和夫（埼玉支部）、竹内一登（南関東支部）
(敬称略)

総会終了後、懇親会が開催されました。鈴木新会長の挨拶、乾杯のご発声の後、
新役員、新支部長の所信表明、旧役員、支部長の挨拶がありました。

その後は、久しぶりの再会に積もる話に花を咲かせ、和やかな懇親会が時間一杯まで続き、岩井副会長の中締めでお開きとなりました。

令和6、7年度支部長一覧

支部名	支部長名	支部名	支部長名
北海道支部	須川清一	南関東支部	伏見 靖
東北支部	山下健二	中部支部	江口敬一
北関東支部	棄山一宏	近畿支部	國廣好行
千葉支部	関口 恒	中国支部	小原啓子
埼玉支部	江上範博	四国支部	妹尾浩二
東京支部	戸田裕之	九州支部	西尾廣幸
		台湾特別支部	蔡 有義

2024年度「研究論文大募集」

—包括テーマ— 成長に向けた価値創出の実現 (中小企業白書より)

経営士全国研究会議は2年に1度の隔年開催になりました関係で、西暦偶数年度は論文発表会の開催を行います。本年度のテーマは上記といたします。多数の応募をお待ちしております。

募集要領

- 資格：一般社団法人日本経営士会 会員
- 論文テーマ：
 - ①包括テーマに準拠するもの
 - ②その他、経営士としてのコンサル活動をテーマにしたもの
- 事前申請：
応募を希望される場合は、2024年9月27日（金）までに氏名、会員番号、
支部名、論文のテーマを事務局あてにメールにて申請してください。
事務局メールアドレス：office@nihonkeieishikai.com
- 執筆要綱：日本経営会研究論文執筆要綱による。（下段参照）
- 論文締切：2024年10月31日（木）
- 応募方法：ワードで作成のうえ、メール添付またはデータを下記へお送りください。
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5階
事務局メールアドレス：office@nihonkeieishikai.com
TEL:03-3239-0691 / FAX:03-3239-1831
- 日程：
 - 9月27日（金）エントリー締切
 - 10月31日（木）論文締切
 - 11月中旬 論文審査
 - 12月7日（土）AMCJクロッシング 交流会にて優秀論文発表・表彰(ZOOM)

日本経営士会 研究論文執筆要綱

この論文執筆要綱は、日本経営士会が一般社団法人としてオープンな組織を目指し、会員の研究論文の社会的価値を高めることを目的に定めるものである。

＜形式＞

- ◇原稿はパソコンで作成する。
- ◇文字字体は、MS明朝体で作成する。
- ◇原稿のサイズは、A4用紙縦置き横書きとし、余白は上下3.5センチ、左右3センチとする。
- ◇文字の大きさは、見出しについては12ポイント、論文要旨8ポイント、本文10.5ポイントとする。謝辞・あとがきは 10.5ポイント、参考文献等8ポイントとする。
- ◇文章は常用漢字と現代仮名使いとし、アルファベットは活字体とする。
- ◇数字は半角数字を原則とする。ただし、見出し等については全角数字を許容する。
- ◇原稿枚数は、A4用紙8枚以上、10枚以内とし、ページ番号を記載する。

＜論文の構成＞

- ◇表題 ◇要旨 ◇本文（緒言、研究・調査方法、結果・考察、結論）
◇謝辞／あとがき ◇補注、図表、参考文献

〈表題〉

〈要 旨〉

- ◇要旨は、表題に続いて記述する。
 - ◇要旨は、論文のおおよその内容を要約し、300字～500字以内で記述する。

<本 文>

- ◇本文は、要旨から2行をあけて記述する。
 - ◇本文は、「緒言」「研究・調査方法」「結果・考察」「結論」の順に記述する。
 - ◇「緒言」とは、本論文の意義や目的などを記述するもの。
 - ◇「研究・調査方法」とは、研究・解析・調査など、実際に取組んだ手段・方法等について記述するもの。
 - ◇「結果・考察」とは、研究・調査の結果、成果の考察、既知見との関係などについて記述するもの。
 - ◇「結論」とは、研究・調査によって得られた結論に対する総合的な記述。
 - ◇「謝辞／あとがき」は、本文に續いて、調査・研究・執筆における協力者へ感謝の意を述べる。（通常、研究などは協力者があって実現することが多いことから、社会通念上の礼儀として必ず謝辞を述べる）

＜補注、図表、参考文献＞

- ◇「補注」を必要とする場合は、本文該当箇所に番号等で明示し、参考文献の前に、一括して番号をつけて掲載する。
 - ◇「図表」は、直接原稿に貼り付け、本文と図表を関連づける「図番号・表番号」をつけて記載する。
 - ◇「参考文献」は、本文や補注で言及したもの、及び図表で引用した全てのものを、引用順に番号をつけて文末にまとめて記載する。（自著も含む）
記載の方法は、「著書タイトル」、「著者名（フルネームで）」、「出版社名」、「発行年（西暦で）」の順に記載する。
例：『地球環境論』平成太郎 日本環境出版社（2007年）
『JIS環境マネジメント2007』日本規格協会（2007年）
なお具体的に引用をした場合には、上記の他に引用をしたページを記載する。
また同時に引用した箇所には、肩括弧で参考文献の連続番号を付記する。
 - ◇インターネットからの引用は、「ホームページ名」、「URL」、「アクセス日」を明記する。

＜論文の制限および著作権＞

- ◇他の団体等に投稿した論文(明らかに同文と思われる部分掲載を含む)は受理しない。後日発覚した場合は評価の取り消しを行なう。
＊「団体等」とは規模の大小を問わず、財団法人、社団法人は勿論の事、学会、組合、市民団体を含めた広義の全ての集合体を指す。
 - ◇当会に投稿した論文は、未発表のものに限る。経営士全国研究会議等における正式な発表までは公表を禁止する。
 - ◇研究論文の著作権は本人に帰属する。
 - ◇研究論文の著作権の使用（複製権・翻訳権・出版権）については、一般社団法人日本経営士会に帰属する。ただし、本人が自らの用途に使用することについては制限しない。

令和6年度の一般社団法人日本経営士会、社員総会も無事に執行され、新たに新支部長並びに新会員入会希望者対応担当者も決定したところで、本年も資格審査委員会主催で資格審査への書式手続き説明会を開催いたします。

視聴対象者は新支部長ならびに各支部資格審査担当者ですが、興味のある方はご参加ください。

— 記 —

1. 日時：令和6年7月21日）13時00分～14時30分

（出欠の有無は bzu03624@nifty.com 島影までメールでお願いします）

2. 開催方式：オンライン会議による開催

当日、下記のURL（固定）にて会議にお入りください

<https://us02web.zoom.us/j/83394924939?pwd=L2RvZ1ExaUV4NXFOVDIScEFDUmhsdz09>

ミーティングID: 833 9492 4939

パスコード: 283604

会議記録は後日 You Tubeにて配信予定。希望者はお問い合わせください。

3. 資料配布：使用する「入会の手引」「資格審査実施要項」他は、開催中にチャットで配信します。

日程が合わず、資料のみ希望者は、別途 各支部エリア担当の審査委員にお問い合わせください。以下は、令和6年度の各エリア担当者です。

役職	氏名	担当エリア
委員長	島影教子	全体 台湾 北海道
副委員長	小林伸矢	東京・中部
日比慶一		千葉・北関東
宮高信之		南関東
花井秀年 (新)		埼玉・東北
上田和美 (新)		近畿・四国
小宮幸久 (新)		中国・九州

資格審査委員会
委員長 島影教子

経営支援事業部／M&A事業検討室 横田 英滋

今回は当局の斯業界についてのスタンスについて説明します。

本来、M&A支援業務については、一切の資格、許認可は不要です。

その意味では、通常のコンサル業と全く同じです。

一方、M&A市場の活況化と相まって、斯業界に参入する動きは後を絶ちません。

これにより、執拗な電話勧誘、法外な手数料請求等各種トラブル、クレーム等も発生しました。

一方で、後継者不在による事業廃業等の状況は厳しさを増し、ここに至って、経済産業省／中小企業庁は「中小M&Aガイドライン」を制定し、同時に「M&A支援機関登録制度」を創設しました。

ガイドラインは、後継者不在に悩む中小企業への手引きであると共に、支援機関向けの行動指針でもありました。

ガイドライン自体には法的拘束力はありませんが、中小企業庁は、予め登録した事業者に支払う手数料みが、事業承継・引継ぎ補助金（専門家活用型）の補助対象になると言うルールを創設。

その登録業者にはガイドラインの遵守を求め、違反者名を開示する等の施策を展開しました。

用語集4

中小M&Aガイドライン：

R2年3月、中小企業庁によって制定された中小企業のM&Aの「手引書兼指針」後継者不在に悩む中小企業の手引書であり、併せて、これを支援する機関の行動指針を示しました。

例えば、テール条項（後記）等について留意するよう指摘しています。

R5年9月「第2版」が公表され、新たに契約前の重要事項説明等が明記された他、手数料の最低価格等について事例・分布状況等が示されました。

テール条項：

契約期間終了後も手数料を徴求する契約。

悪意の顧客が意図的に仲介業者を外し、当該仲介業者から紹介を受けた企業と交渉する行為等を防止する為の条項、支援業者の自衛策。

しかしながら、膨大な紹介リスト全てを対象にする、過度に長期間顧客を拘束するなどの問題も顕在化した為、当局は対象の限定化と適正な期間設定を示唆しています。

M&A支援アドバイザー(仮称)育成講座開催のお知らせ

経営支援事業部 M&A事業検討室

1. 日 時 令和6年7月27日(土)、28日(日) 10:00~16:00(予定)

2. 開催方法 オンライン(ZOOM)

3. 受講料 22,000円(税込) 応募締切 7月25日

趣旨:

M&A、特に中小企業を主体とした所謂「スマールM&A」が活況を呈し、後継者対策としての事業継承の他、事業の整理統合、単なるエグジットの動き等も加わっております。

この中で、当会としても中小企業支援の観点から、M&A支援業務を展開する予定です。

これを踏まえ、企業との各種M&A支援事業を実施する担い手の育成を狙い、掲題講座を開催します。

特に、当局は「中小M&Aガイドライン」を制定して斯業界の適正化を図っており、当会も登録された「中小M&A支援機関」として、これを遵守し適切な運営を目指しています。

本講座もその一環と位置付けられるものです。

講座内容:

下記は主な講義内容です。

今回はM&A専門企業と提携し、講座の一部を担当いただきます。

ガイドライン	諸契約
コンプライアンス	バリュエーション
財務分析	デューデリジェンス

本講座履修者=M&A支援アドバイザー(仮称)の資格付与:

講座を履修し、確認テスト合格等一定条件を満たした方は上記資格を得て、当会の「中小企業庁登録M&A支援機関」制度を活用して顧客に対応することができます。

(受託時は事前申請要、受託契約の主体は当会となります)

M&A支援機関と受託契約した顧客は、支払うべき報酬につき、1/2-2/3相当額が補助金対象になります。(他の要件もあります)

(事業承継・引継ぎ補助金:一定要件、審査あり。金額上限、応募期間あり)

申込先 ➡ <https://forms.gle/XFTS7424FWmH64vCA>

情報戦略委員会 小林伸矢

情報戦略委員会は、2024年4月理事会で発足を承認された新しい委員会です。

【経緯】

1月の理事会で三品理事より提案した広報戦略プロジェクト（～戦略フレーム策定からホームページ等の改善へ～）が発足し、「経営士会として重要な広報戦略を、業務運営に責任を持つ理事等で検討する体制の策定」に向け活動を開始しました。

その検討の中で、広報戦略だけでなく、経営士会が持つ情報資産の管理、活用、共有が重要なため、広報委員会のミッションを吸収し、「情報戦略委員会」として発足しました。

【情報戦略委員会のミッション】

経営士会の情報資産、広報チャンネルを把握し、階層別情報管理、情報活用、情報共有、情報発信、広報を推進する。この中で、ホームページ、各種SNS、マネコン誌等で発信する情報の事前審査を行い、ホームページ他の維持管理も行う。会員情報等の情報管理もこの中で実施する。

【委員会の構成】

担当理事と協力理事に加え、3月に行われた「本部組織への公募」に応募された方と、各支部の広報担当の皆様で構成されています。

【最重要課題】

情報発信の仕方や受け取り方が多様化・複雑化していく中、当会のブランドイメージを守り、統一されたコミュニケーション、広報を行うために、インターネット、Webメディア、SNSを有効活用しなければなりません。

Webサイト（ホームページ）については、各部門から色々な要望が出ており、2024年度は、ホームページ改善に取り組む計画です。

【ホームページ 改善提起先、情報掲載依頼申込先】

担当理事、情報戦略委員会委員、事務局竹下

【委員募集中】

経営士会のホームページの設計、改善に、また情報戦略、インナーコミュニケーションにご興味のある方を募集します。当ホームページはWordPressで作っています。またミーティングはZoomで行っていますので、全国どこからでも参加できます。皆でWordPressを勉強する計画もあります。

連絡先 情報戦略委員会 小林伸矢 nobuyqa-koba.2029@nifty.com

【ニュース】

北海道支部のホームページが開設公開されました。 <https://keieishihokki.com/>

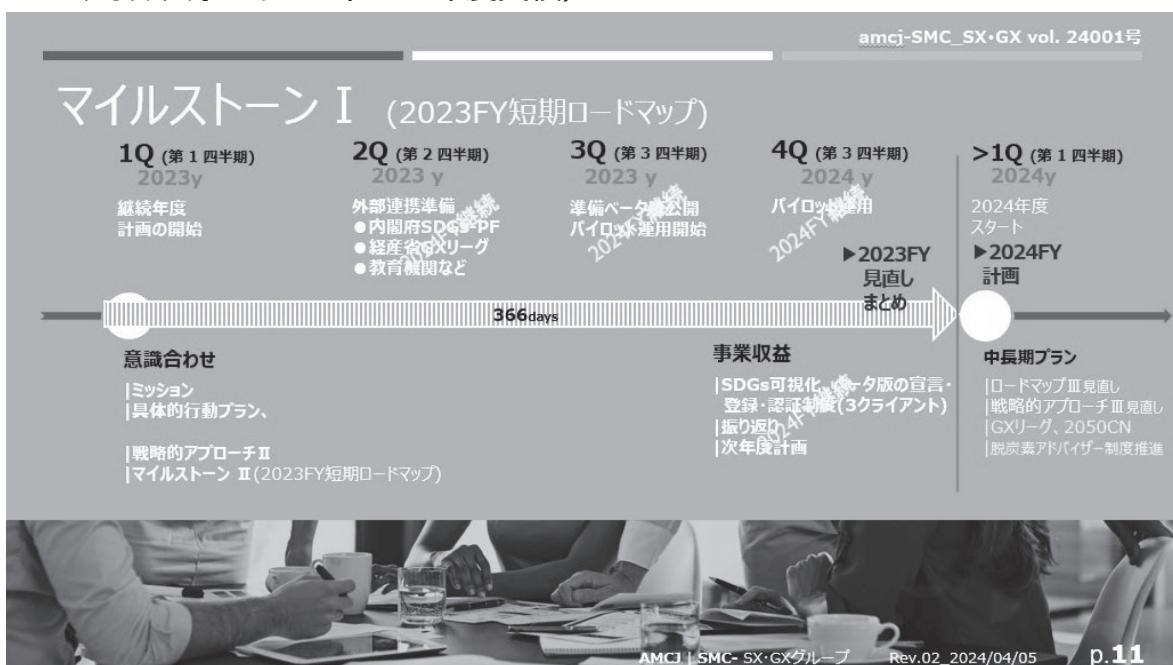
サステイナブルマネジメントセンター（SMC） SX・GXグループ（SDGs事業部）の活動報告

【SMC-SX・GXグループ: 本田 哲行】

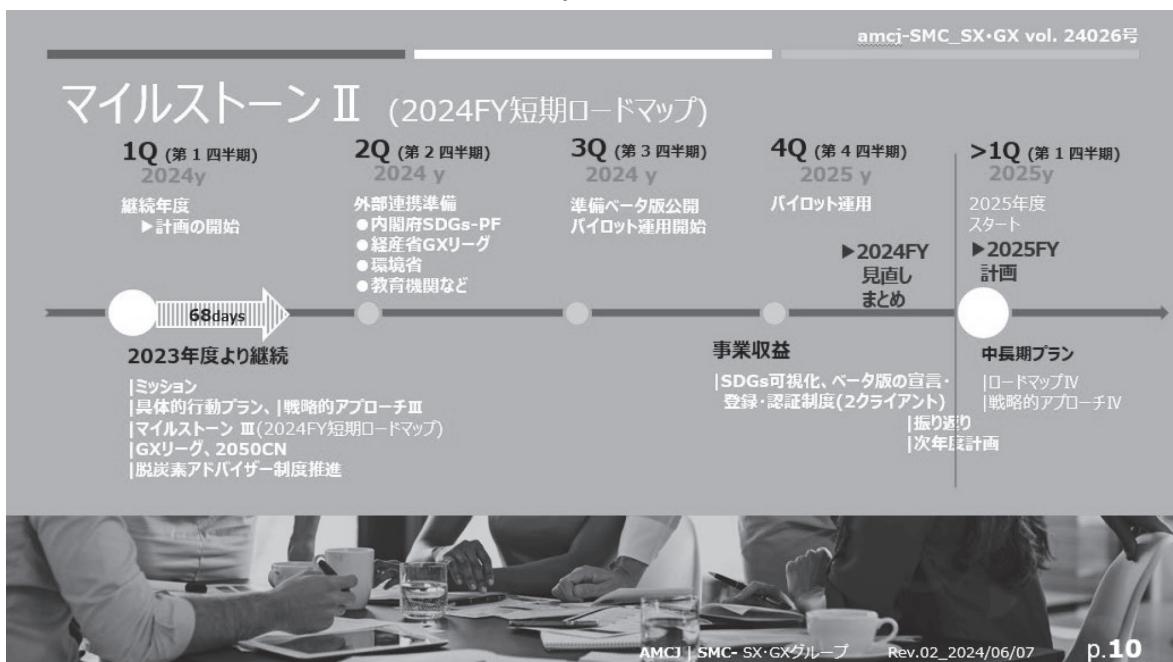
1. SX・GXグループの実績・計画（マイルストーンⅠ、Ⅱ）

本SX・GXグループは、昨年同様の事業活動を予定します。また、経済産業省の「GXリーグ基本構想」に於いても、昨年同様「参画企業」として、本格稼働フェーズⅡ（2026年度）に向けたフェーズⅠが昨年度に続き継続的に活動することで再スタートされております。以下の通り実績・計画をご報告いたします。

-1. マイルストーンⅠ（2023年度実績）



-2. マイルストーンⅡ（2024年度計画）



2. 「GXリーグ参画企業プロフィール掲載（邦文・英文）」（経済産業省・GXリーグポータルサイト）

経済産業省では、GXリーグ「参画企業」に対し、本年度より組織の活動・取り組み状況およびトランジション戦略について、経産省ポータルサイトで随時公開されています。

本会のGXリーグ・フェーズIに関しては、以下の通り概要（邦文のみ抜粋）を示します。

一般社団法人日本経営士会

証券コード一 業種その他のサービス業 売上一 参画区分Group X

GX-ETS グローバル削減目標

組織境界類型：単体

組織境界に含まれる法人（代表参画企業を除く）数 0 法人

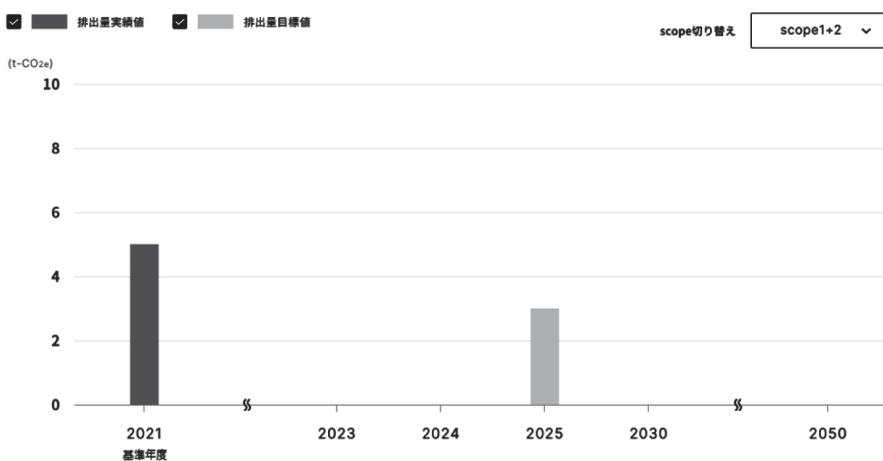
排出量目標（2021年度対比）

- 第1フェーズ目標(2023~2025年度の総計)
5t-CO₂e
- 2025年(中間目標)
3t-CO₂e(50%削減)
(scope1, scope2 -50%)
- 2030年
0t-CO₂e(100%削減)
(scope1, scope2 -100%)
- 2050年
カーボンニュートラル

実績値

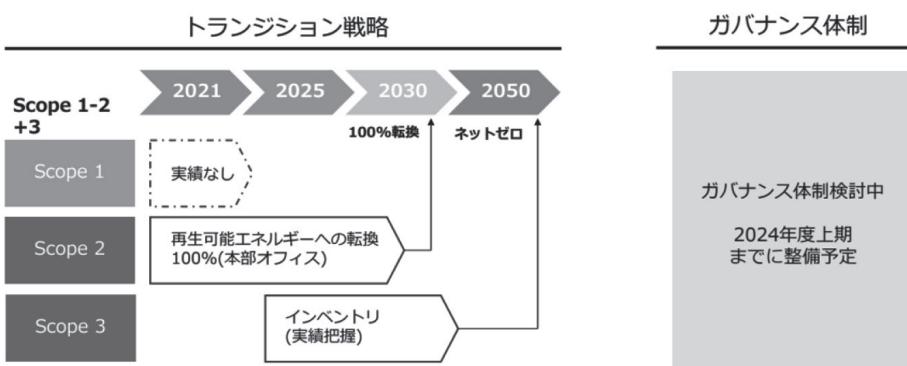
- 2023年
排出量 t-CO₂e
(scope1 t-CO₂e, scope2 t-CO₂e)
- 2024年
排出量 t-CO₂e
(scope1 t-CO₂e, scope2 t-CO₂e)
- 2025年
排出量 t-CO₂e
(scope1 t-CO₂e, scope2 t-CO₂e)

排出量目標と排出量実績の比較



一般社団法人日本経営士会 トランジション戦略

AMCIは、持続可能な開発目標を支援します。



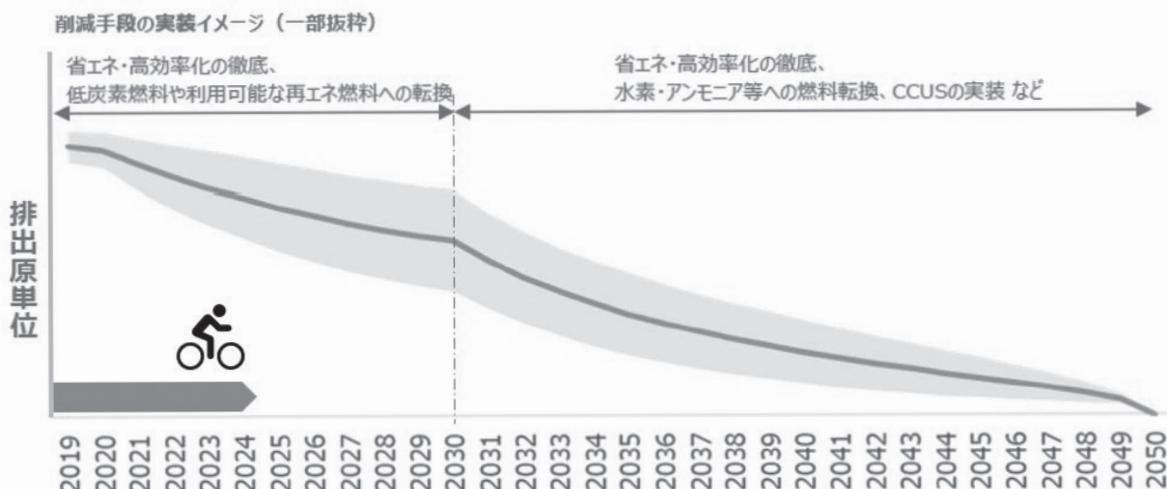
-1. GX リーグで取り組む「2025年度の排出削減目標」、「第1フェーズの排出削減目標の総計」

データ	提 出	公 表	
基準年度排出量	○	○	
2021 年度排出量 (参考)	○	-	
2013 年度排出量※1 (参考)	○	-	
2023 年度目標 ※2	-	第1フェーズ目標 (総計) ○	-
2024 年度目標 ※2	-		-
2025 年度目標 ※2	○		※多排出製造分野について、公表の在り方を検討
2030 年度目標 ※2	○	○	※多排出製造分野について、公表の在り方を検討

※ 1 基準年度を2013年度としない場合に提供を求める

※ 2 目標排出量、基準年度からの排出削減率、基準年度からの排出削減量。2030年度目標は、第1フェーズ期間中における事情変更が生じうることを念頭に、第2フェーズ開始前に、見直し可能

-2. CO₂ 排出の削減イメージ (参考)



3. GX人材定義、スキル可視化 経産省のGXリーグが公表 (2024年5月13日)

経済産業省主催で脱炭素に積極的な企業でつくるGXリーグが「グリーントランスフォーメーション (GX)」を推進する人材の定義を策定した。情報開示や温暖化ガスの削減計画といったGXを進めるための役割と必要なスキルをまとめ4つの人材類型に区分されています。

-1. GXスキル標準 (GXSS) 詳細検討は今後の予定

GXスキル標準 (GXSS) の検討結果としてそれぞれ下記2つの標準について策定

1) GXリテラシー標準 (GXSS-L) Ver1.0

- GXに関するリテラシーとして身につけるべき知識と学習が期待される項目 (学習項目例) を定義
- GXスキルレベル1としての学習到達度を定義

2) GX推進スキル標準 (GXSS-P) Ver1.0

- GX進に必要な人材類型とロールの定義 (一部)
- 「GXアナリスト算定」「GXストラテジスト削減計画」の2ロールのみレベル別スキルを定義とりまとめは、「GXスキル標準」と名付け、14日に公表される。

GX人材の4類型は、温暖化ガス排出量の算定を行う「GXアナリスト」、削減計画を立案される。

-2. GXスキル標準（GXSS）の引き続き検討が必要な事項

GXSS レベル	本年度検討したこと	引き続き検討が必要なこと
		GX推進人材の提示
GXを推進する人 GXに関する全ての人	レベル4	・ プラッシュアップ
	レベル3 「GXアナリスト 算定」「GXストラテジスト 削減計画」 2人材のみレベル別スキルを定義	・ その他人材のレベル別スキル定義 ・ 推進人材にとって共通的に必要となるリテラシー（プロフェッショナルレベル）の検討
	レベル2 GXリテラシーを詳細項目まで定義	・ プラッシュアップ
GXSS - P GXSS - L	レベル1	

出典: 経済産業省 GXリーグ GX人材市場創造WGより引用

4. YCU | 横浜市立大学 相互連携と協働による活動実績と今後の計画

目的は、本会の全国・地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、サービスの向上および活性化を図ることを目的とし、連携事項は次に掲げる事項について連携・協力しております。

-1. 2021年度（R3）横浜市立大学 後期エクステンション講座 >大学生（一般含む）

- ◇公益財団法人横浜企業経営支援財団との共催
- ◇講座番号372 SDGs経営戦略経営
～経営士による最新事情の解説と実践的ワークショップ～
- ◇開講形式: 対面／受講料: 1,500円／定員: 20名
- ◇会場: 横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス（横浜ランドマークタワー7F）
- ◇開講: 全3回、木曜日の16:10～17:40 ①12/16、②01/13、③01/20（ワークショップ）

-2. 2022年度（R4）横浜市立大学 後期エクステンション講座 >大学生（一般含む）

- ◇公益財団法人横浜企業経営支援財団との共催
- ◇講座番号359 CSR・CSV・ESG投資・経営へ
～経営士によるサステナブル経営系譜と経営戦略へ～
- ◇会場: (公財) 横浜企業経営支援財団・大会議室(中区日本大通11横浜情報文化センター7F)
- ◇開講: 全7回、金曜日の17:30～19:00
①9/30、②10/14、③10/28、④11/11、⑤11/18（ワークショップ）、⑥11/25、⑦12/9

-3. 2023年度（R5）前期大学院修士課程向けの講義（1コマ）>修士課程の学生

- ◇講義内容: 「総合研究科目4 SDGsの基礎と実践」～SDGsの最新状況について～
- ◇開講日: 2023年4月22日（土）10:30～12:00
- ◇場所: 横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス（横浜ランドマークタワー7F）

-4. 2023年度（R5）横浜市立大学 前期・後期の集中講義（各15コマ）>修士課程の学生

- ◇講義内容: ①前期▶「環境ISO論」、②後期▶「品質ISO論」
- ◇開講日: ①前期▶6/17(土)、6/24(土)、7/1(土)／1限～5限(8:50～17:40)
②後期▶11/11(土)、11/18(土)、11/25(土)／1～5限(8:50～17:40)
- ◇場所: 横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス（横浜ランドマークタワー7F）

-5. 2024年度（R6）横浜市立大学 前期・後期の集中講義（各15コマ）>修士課程の学生

- ◇講義内容: ①前期▶「環境ISO論」、②後期▶「品質ISO論」
- ◇開講日: ①前期▶6/15(土)、6/22(土)、6/29(土)／1限～5限(8:50～17:40)
②後期▶10/12(土)、10/19(土)、10/26(土)／1～5限(8:50～17:40)
- ◇場所: 横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス（横浜ランドマークタワー7F）

2024年度から、人材育成事業部が新設されました。これまでの経緯と当事業部の主な役割は、以下のとおりです。

1. これまでの経緯

- ① SMC7c プロジェクト会議（2022年8月スタート）
- ② 外部向け研修・コンサルティング事業登録講師、コンサルタント募集
- ③ SMC月次セミナー（2023年3月より）、次世代リーダー道場（同7月より）開始
- ④ 法人会員制度の見直し（2023年上半期～）
- ⑤ セミナー講師認定制度の発足及びセミナー講師育成講座実施の承認（2023年9月15日理事会）
- ⑥ 会員実績登録シート提出依頼（2023年9月下旬～）
- ⑦ 登録講師交流会（2023年12月12日）
- ⑧ 「プロ講師育成講座」「法人会員制度」構築検討会発足（2023年12月～3月迄7回開催）
- ⑨ 中期事業計画骨子案の承認（2024年1月19日理事会）
- ⑩ 本部組織改定案の承認（2024年2月16日理事会）、メンバー公募
- ⑪ 『プロ講師育成講座』カリキュラム検討は人材育成事業部に引継ぎ（2024年度より）

2. 人材育成事業部の役割

入会後、経営士としての能力開発の仕組み、制度を検討し、運用していくことが当事業部の役割であり、具体的には、以下のことに取組んでいきます。

- ① プロ講師育成講座の設計、開発、運用
- ② プロ講師認定制度の設計、開発、認定・登録
- ③ プロコンサルタント育成制度の設計、開発、運用
- ④ プロコンサルタント認定制度の設計、開発、認定・登録

【運営体制】

担当理事：児玉 充晴 協力理事：近藤 安弘 事業部長：江上 範博

メンバー：日比慶一、河本仁美、岡田光史、福本大蔵、須藤英幸、小泉利明

金廣利三、二宮治己、春原和夫、福島光伸（法人会員事業部長）計13名

【会議】第1、第3火曜日 20:00～21:30

3. 今年度の目標、計画

- ①プロ講師育成講座の企画、開催

9月開催を目標に準備を行っています。今後、受講希望者の方を募集していくので、講師力を高めたい方は、ぜひ受講をご検討ください。

- ②プロコンサルタント育成制度の設計

7月より新たにプロジェクトをスタートし制度設計を行います。制度の一部を年度内、もしくは次年度前半にトライアル実施を目標としています。

メンバーは随時募集していますので、ご関心をお持ちの方は、江上までご連絡ください。

AMCJクロッシング活動報告

AMCJクロッシング

クロッシング（交流会）を開始して5年目を迎えます！会員みなさまに楽しんでいただけ
るよう、さまざまなコンテンツをお届けします。今後とも引き続き宜しくお願いします。

4月にWEB開催をしましたクロッシングは、第14回目にあたります。また、今年は「きづ
き」を持ち帰ろう！を新しいテーマにしています。

これからも、全国会員の皆さまが気軽に「ワイガヤ」ができて、お互いを知っていただけ
る「フラットな場」になるように、運営を行ってまいります。

AMCJクロッシング委員長 戸田 裕之

◆『第14回AMCJクロッシング』、4月14日（日）、10：00～12.00、参加者16名

テーマ：「未来予測と創造 ～あなたの未来のために～」

ファシリテーター：小林伸矢 会員(東京)

ご意見ご感想（アンケートの返信は「大変良かった」がほとんどでした）

- ・新しいテーマ、新しい試み、良かったと思います。将来の不安や課題にネガティブになら
ず、温かい時間になったと思います。
- ・とてもよく工夫されて解りやすいプレゼン資料と内容でした。
- ・ゆっくり対話が出来て楽しめました。話題も正解があるものではない為、その分気楽に話
が出来て発想も自由に広げられたので良かったです。
- ・未来を予測することは、難しいですが未来に目を向けて思考（志考）することが出来た時
間でした。皆さんの経験を通じてみえている、社会の未来、課題から広がりが出来たこと、
楽しかったです。グループ交流にベストな時間、人数で快適でした。
- ・事例が農業、車、デバイス、ITと分かりやすかったが、お題が壮大であった分、事例に経
済活動をする上で必要なエネルギー、インフラそしてお金の変遷についてもあってよいの
ではないかと感じた。
- ・DX、テクノロジーに着目する社会の中でも、「人」「コミュニティ」は大切で、「きづ
き」も「心」人間だからこそ、会員ひとりひとりの私だからこそ、そこを大切にしていき
たいですね。

◆今後のスケジュール

2024年07月13日（土）、13：00～17：00 終了後懇親会へ、クロッシングinはかた

2024年10月13日（日）、10：00～12：00、テーマ未定、ZOOM開催

AMCJクロッシングは、【偶数月 第2日曜日 10時～】を予定しております



事業部・委員会活動

SMCセミナー／次世代リーダー道場

SMC7c プロジェクト

サステイナブル・マネジメント・センター主催のプロジェクトとして、毎月、2つの講座を開催しています。ぜひ、多くの方にご活用いただければ幸いです。

1. SMC無料オンラインセミナー

昨年の3月からスタートしたSMCセミナーは、経営士会にいる人材を外部の方に知っていただくために継続して情報発信をしているものです。

また、会員の方にとっては、ご自身の商品、ノウハウのPRの場としてフロントセミナーという位置づけで企画、講演をしていただいているいます。

講師として登壇したい方も随時募集しています。埼玉支部、江上までご連絡ください。

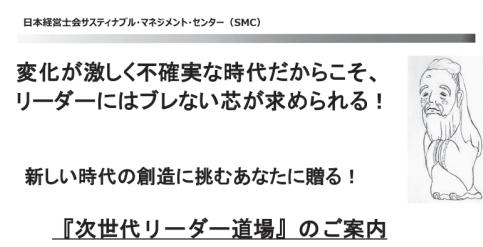
開催日時	時 間	セミナーテーマ	
6月25日（火）	13:00~14:10	決算書を活用したコスト管理の手法	
	14:30~15:40	DXに取り組む意味、メリットと導入手順	
	16:00~17:10	Vチューバーマーケティングセミナー	
開催日時	時 間	セミナーテーマ	講 師
5月25日（土）	13:00~14:10	持続可能で幸福な社会を築く経営とは	江上 範博
	14:30~15:40	女性が働きやすい会社づくり	河本 仁美
	16:00~17:10	SDGsを経営に取り入れて企業体質を強化する	小林ひろみ

2. 次世代リーダー道場

人間の行き過ぎた経済活動が様々な問題を引き起こしており、持続可能な社会づくりに向けて新しい発想で事業に取り組み、安心して暮らせる社会づくりにチャレンジするリーダーが求められています。先人の知恵に謙虚に学び、これから時代に生かす事業や組織運営などについて考え、またリーダー自身の自己研鑽の場として、昨年7月より毎月2回開催しています。

人間力を磨き、高めることにご関心をお持ちの方は、一度無料お試し受講にご参加ください。

原則として、毎月第2、第4水曜日の
19:00~21:00 Zoom開催



法人会員事業部活動報告

法人会員事業部

今期より、下記を目的として法人会員事業部を創設しました。法人会員をA会員、S会員とランク分けし各々に対してサービスを提供していきます。

1. 制度構築検討目的

- (1) 法人会員に提供するベネフィットを定義して、企業・団体との接点を増やして会員活動の場を広げる。
- (2) 経営士会の会員への、授産の機会を創出するとともに、企業支援能力向上の場としても提供する。
- (3) 併せて、経営士会の財務基盤の充実を図る。

2. 法人会員会費とサービス内容

※キャンペーン期間中は特典として入会金は無し

	A会員 年会費 10万円 (入会金2万円※)	S会員 年会費 30万円 (入会金5万円※)
1	なし	「教えてアムシー (AMC)」経営相談に対して無料で経営士会会員からの回答（例：人手不足解消、業績向上、事業承継等）
2	簡単なグループメール相談、アドバイスが無料	簡単なグループメール相談、アドバイスが無料
3	なし	社内研修向け受講評価付き無料ショート動画が見放題
4	なし	プレ経営診断 年1回無料
5	アカウントマネージャによる相談窓口	相談窓口だけではなく、アカウントマネージャによるワンストップショッピングの提供
6	「次世代リーダー道場」1名無料参加	「次世代リーダー道場」3名無料参加
7	有能講師によるトレンディな無料セミナーの実施	左記に加えて、本来は有料のセミナーを無料提供。アーカイブ視聴、PDF資料ダウンロードが無料

8	マネジメントコンサルタント誌に社名広告無料掲載	左記の無料広告の枠取りを大きく掲載
9	当会主催の法人会員の交流会への有料参加	当会主催の法人会員の交流会への無料参加(3名様まで)
10	電子出版の企画書作成の支援サービス。20万円→10万円での半額提供	左記に加えて、出版までのパッケージサービスの割引。「経営士会推薦書」の使用許可
11	なし	無料のラジオ出演での自社のPRとブランディング
12	経営チェックシート無料提供サービス	経営チェックシート無料提供サービス

(変更、追加の可能性があります)

これ等の活動をきっかけとして、会員各自が経営士会の規程の範囲で個別（あるいはグループ）に収益活動に取り組んでいただくことが目的です。

3. 法人会員獲得活動

(1) 経営士会の皆様からの紹介により法人会員になられた場合は下記の謝金お支払いを計画しています（案）。

No	謝金発生事項	金額（円）
1	A会員紹介	20,000
2	S会員紹介	60,000
3	A会員からS会員への昇格	40,000

その他、教えてアムシー回答、動画作成・投稿、アカウントマネージャー活動、プレ診断等の活動に対しては、活動時間における時間単価の考え方からお支払いします。

(2) WEBサイトからの入会を強化するため、ランディングページを立ち上げます。

4. 経営士会会員皆様へのお願い

今回の活動は、経営士会としての活動であり会としての将来の姿を創り上げていく活動です。基本的に「会員登録シート」ご提出者の情報をもとに創り上げています。「会員登録シート」未提出の方はぜひご提出お願いします。

○詳細に関しては別途ZOOMによる説明会を実施しています。ぜひご聴講ください。

(文責:法人会員事業部事業部長 福島光伸)

今回は、年度替わりということもあり令和5年度のMPP取得単位情報やリーダー登録有効期間情報をお伝えします。

1. MPP高単位保有者一覧（通算50単位以上）

会員番号	氏名	支部	令和5年度までの累計	会員番号	氏名	支部	令和5年度までの累計
2680	日野 隆生	東京	554	5221	蔡 有義	台湾特別	113
3053	李 孟熹	台湾特別	421	5276	竹岡 栄徳	近畿	112
3970	塚本 裕宥	北関東	391	2719	林 久雄	千葉	108
4544	近藤 安弘	南関東	337	1340	高橋 幸雄	南関東	101
4418	河上 晃	近畿	321	2323	藤原 義博	九州	100
2972	張 銘江	台湾特別	297	4705	岩井 美喜夫	四国	96
3584	鈴木 健	南関東	291	4784	土橋 留美子	東京	95
3343	邱 炳輝	台湾特別	231	1150	出村 忠廣	南関東	93
4334	謝 明堂	台湾特別	225	4269	斎藤 誠一郎	東京	92
2022	磯部 正美	北関東	210	4733	廣瀬 典仁	南関東	88
4516	陳 信安	台湾特別	203	5199	三品 富義	中部	85
4595	黃 世欽	台湾特別	197	4054	神崎 進	九州	85
4802	邱 黎燦	台湾特別	182	環境経営士	津田 嵩	南関東	77
4804	陳 木梓	台湾特別	182		2306	山本 正樹	中国
2042	木村 泰博	北関東	171	4624	臼井 邦夫	北関東	75
4905	陳 益世	台湾特別	169	2452	鶴岡 義明	千葉	73
4760	島影 教子	東京	168	1121	中野 澄雄	中国	71
3686	鈴木 勇	北関東	157	5061	江 致平	台湾特別	70
2041	渡辺 良男	北関東	146	5278	宇和野 敦子	近畿	63
442	渡部 喜政	東北	144	4890	西山 茂	北関東	62
2358	佐藤 光子	東北	135	4945	江尻 敏彰	中国	61
2421	大内 正雄	九州	132	2929	山本 英夫	南関東	59
5117	陳 俊碩	台湾特別	130	3966	庄司 芳昭	東北	57
3176	乗山 一宏	北関東	127	3116	伊藤 彰彦	南関東	57
5116	莊 翔斌	台湾特別	127	4613	竹内 一登	南関東	56
5179	北原 雅人	近畿	116	2311	高田 英二	四国	55
4997	松永 桂子	南関東	114	4959	陳 俊榮	台湾特別	53

（敬称略）（令和6年4月1日現在）

2. 令和5年度MPP単位取得者一覧（会員）

会員番号	氏名	支部	取得ポイント数	会員番号	氏名	支部	取得ポイント数
2680	日野 隆生	東京	40	5218	豊政 茂	中國	6
4544	近藤 安弘	南関東	21	4595	黃 世欽	台湾特別	6
5398	桔梗 美紀	東北	17	5523	吳 聰毅	台湾特別	6
5640	松下 暉子	近畿	14	5598	高 芳眞	台湾特別	6
4784	土橋 留美子	東京	13	2042	木村 泰博	北関東	5
5726	飛田 晋	南関東	13	4962	松岡 繁	北関東	5
4802	邱 黎燦	台湾特別	12	5525	相場 清人	北関東	5
3343	邱 炳輝	台湾特別	11	5587	日比 慶一	千葉	5
4804	陳 木梓	台湾特別	11	5567	石原 群司	東京	5
4905	陳 益世	台湾特別	11	3584	鈴木 健	南関東	5
5116	莊 翔斌	台湾特別	11	4881	金子 勝祐	南関東	5
5117	陳 俊碩	台湾特別	11	4997	松永 桂子	南関東	5
4624	臼井 邦夫	北関東	10	3053	李 孟熹	台湾特別	5
4705	岩井 美喜夫	四国	10	5061	江 致平	台湾特別	5
5221	蔡 有義	台湾特別	10	2022	磯部 正美	北関東	4
4961	山下 健二	東北	9	5501	竹俣 大介	北関東	4
5294	佐藤 広文	東北	9	5354	大内 雅功	北関東	4
4613	竹内 一登	南関東	9	5622	東ヶ崎 鈴子	北関東	4
5481	江藤 昭人	南関東	9	4909	中杉 保雄	埼玉	4
4983	高橋 直也	東北	8	4996	小宮山千恵子	南関東	4
2041	渡辺 良男	北関東	8	5483	小泉 利明	南関東	4
4760	島影 教子	東京	8	5014	案浦 浩二	九州	4
5289	鈴木 啓之	南関東	8	1791	有坂 信彦	東北	3
2972	張 銘江	台湾特別	8	3673	岡崎 充男	東北	3
4334	謝 明堂	台湾特別	8	5434	鈴木 裕之	北関東	3
4516	陳 信安	台湾特別	8	5715	大塚 太郎	北関東	3
2358	佐藤 光子	東北	7	5362	坂本 充	東京	3
3176	葉山 一宏	北関東	7	5455	鍋田 悟	南関東	3
4890	西山 茂	北関東	7	5040	小池 基美男	南関東	3
5433	粉川 雅人	北関東	7	5560	外岡 圭子	南関東	3
3970	塚本 裕宥	北関東	6	5179	北原 雅人	近畿	3
4733	廣瀬 典仁	南関東	6	5563	二宮 治巳	近畿	3
5336	廣瀬 朗	南関東	6	5182	福田 幸雄	中国	3
5365	今枝 健治	中部	6	4658	溝淵 新蔵	北海道	2
5732	上田 和美	近畿	6	5496	須川 清一	北海道	2

1766	深田 一弥	東 北	2	5635	齊藤 哲也	東 北	1
5621	塚本 明子	北 関 東	2	5624	小林 正典	東 京	1
4665	春原 和夫	埼 玉	2	5653	有手 文雄	東 京	1
5611	小林 伸矢	東 京	2	5737	高橋 誠	東 京	1
5729	村上 貴広	東 京	2	2929	山本 英夫	南 関 東	1
5742	片山 晃男	南 関 東	2	5410	横田 英滋	南 関 東	1
5199	三品 富義	中 部	2	5720	阿川 光祐	南 関 東	1
5665	石川 隆幸	中 部	2	5479	徳浪 万里	南 関 東	1
5371	仲田 賴継	近 畿	2	5648	宮守 秀多	南 関 東	1
4959	陳 俊榮	台湾特別	2	5740	犬塚 大輔	南 関 東	1
5123	李 啓華	台湾特別	2	4852	近藤 守邦	中 部	1
5725	邱 明欽	台湾特別	2	5110	江口 敬一	中 部	1
5464	小笠原 利治	北 海 道	1	1593	國廣 好行	近 畿	1
5679	石黒 基	北 海 道	1	5641	横山 秋子	近 畿	1
5234	伊藤 仁	東 北	1	4935	盛重 芳文	中 国	1
5246	渡辺 晋也	東 北	1	賛助会員	土屋 博之	中 国	1
5295	佐藤 久美子	東 北	1	5753	山下 智子	四 国	1
5297	仲澤 雅人	東 北	1	5566	西尾 英幸	九 州	1
5298	橋本 浩一	東 北	1	5741	中村 智明	九 州	1
5431	柴崎 高志	東 北	1	5724	簡 義源	台湾特別	1

(敬称略) (令和6年4月1日現在)

3. MPPJ一ダ一登録有効期間一覧表

会員番号	養成受講	登録有効期間	支 部	氏 名	会員番号	養成受講	登録有効期間	支 部	氏 名
4658		2026	北 海 道	溝渕 新蔵	4458		2024	埼 玉	小西 洋三
3673		2024	東 北	岡崎 充男	3686	*	2023	北 関 東	鈴木 勇
4554		2024	東 北	加藤 和弘	3970		2024	北 関 東	塚本 裕宥
3966		2024	東 北	庄司 芳昭	5167		2026	北 関 東	木股 悟志
5398		2028	東 北	桔梗 美紀	2022		2027	北 関 東	磯部 正美
2358		2024	東 北	佐藤 光子	2041		2027	北 関 東	渡辺 良男
4961	*	2027	東 北	山下 健二	2042		2027	北 関 東	木村 泰博
4983	*	2027	東 北	高橋 直也	3176		2027	北 関 東	葉山 一宏
5294	*	2027	東 北	★佐藤 広文	4890		2027	北 関 東	西山 茂
2719		2022	千 葉	林 久雄	1709	*	2022	北 関 東	茨木 智
4909		2028	埼 玉	中杉 保雄	4624		2028	北 関 東	臼井 邦夫
4755		2023	埼 玉	佐藤 信枝	5433	*	2026	北 関 東	粉川 雅人

5434	*	2026	北関東	鈴木 裕之	4705		2026	四国	岩井 美喜夫
4962	*	2026	北関東	松岡 繁	4481		2026	四国	伊藤 繩男
4760		2028	東京	島影 教子	5112		2026	四国	★川西 健雄
4886		2026	東京	鈴木 和男	5203		2026	四国	★内海 信一
2680		2028	東京	日野 隆生	2421		2022	九州	大内 正雄
4784		2026	東京	土橋 留美子	4054		2026	九州	神崎 進
3584		2026	南関東	鈴木 健	2323		2027	九州	藤原 義博
4881		2028	南関東	金子 勝祐	5014		2027	九州	案浦 浩二
環境経営士		2024	南関東	津田 嵩	2972		2024	台湾特別	張 銘江
4613		2026	南関東	竹内 一登	3053		2025	台湾特別	李 孟熹
2929		2026	南関東	山本 英夫	3343		2022	台湾特別	邱 炳輝
4544		2027	南関東	近藤 安弘	4334		2024	台湾特別	謝 明堂
4733		2027	南関東	廣瀬 典仁	4595		2024	台湾特別	黃 世欽
4996		2025	南関東	小宮山千恵子	4516		2024	台湾特別	陳 信安
4997		2025	南関東	松永 桂子	4905		2022	台湾特別	陳 益世
5199		2027	中部	三品 富義	4802		2022	台湾特別	邸 黎燦
5365	*	2027	中部	今枝 健治	4804		2024	台湾特別	陳 木梓
4418		2026	近畿	河上 晃	4959	*	2024	台湾特別	陳 俊榮
5179		2026	近畿	北原 雅人	5221		2025	台湾特別	蔡 有義
5276(経営士補)	*	2022	近畿	竹岡 栄徳	5116		2022	台湾特別	莊 翔斌
5371	*	2022	近畿	仲田 賴繼	5123		2025	台湾特別	李 啓華
5640	*	2027	近畿	松下 暉子	5117		2024	台湾特別	陳 俊硯
2306		2022	中国	山本 正樹	5443	*	2024	台湾特別	何 鷄釣
4513		2024	中国	石田 茂	5462	*	2024	台湾特別	劉 邦寧
4899		2024	中国	★小原 啓子	5523	*	2024	台湾特別	吳 聰穀
3350		2027	中国	川出 泰造	5598	*	2024	台湾特別	高 芳眞

(敬称略) (令和6年4月1日現在)

注：名前の前の★はリーダー養成講座を受講しているが単位不足（20単位必要）でリーダーはできません。

登録有効期間の網掛けは、有効期限が切れていることを示し、更新研修を受講するまでリーダーはできません。

2024年度期限で来年度以降継続される方は、今年度、更新研修を受講することが必要です。

4. 令和5年度MPP単位取得者一覧（一般）

住 所	氏 名	取得単位	住 所	氏 名	取得単位
台 湾	林 青	4	菊 川 市	宮城 和宏	1
さいたま市	萩原 玄	4	大 阪 市	池田 光則	1
大 津 市	石部 大史	4	大 阪 市	近藤 恵二	1
長 岡 市	勝身 麻美	3	高 橋 市	津田 悠紀	1
長 浜 市	渡辺 勝也	3	河 内 郡	矢坂 知紘	1
長 岡 市	加藤 誠	2	稻 敷 郡	中矢 徹	1
吉 川 市	松澤 文明	2	横 浜 市	山下 尚子	1
伊 勢 原 市	杉浦 聰哉	2	東 大 阪 市	岩本 玲那	1
川 崎 市	佐藤 雅哉	2	徳 島 市	川西 利彦	1
千 葉 市	岡部 佳一郎	2	岡 山 市	吉山 絵里子	1
大 阪 市	本田 正悟	2	岡 山 市	上田 渡	1
魚 沼 市	櫻井 智子	2	板 橋 区	山崎 悟	1
神 戸 市	榎 由美子	2	ふ じ み 野 市	二木 悠香子	1
大 崎 市	紺野 昭浩	2	藤 沢 市	小林 宏之	1
新 潟 市	本間 美香子	1	新 潟 市	渋谷 健史	1
長 岡 市	中嶋 一登	1	つ く ば 市	橋本 琢磨	1
浜 松 市	河野 貴司	1	新 潟 市	乙川 直貴	1
立 川 市	木原 敏男	1	長 岡 市	松下 由紀	1
調 布 市	清水 香蘭	1	北 杜 市	志村 貴大	1
墨 田 区	原田 由美	1	阿 賀 野 市	八幡 大地	1
江 東 区	富永 真哉	1	新 潟 市	玉木 彰	1
板 橋 区	喜納 加奈	1	新 潟 市	佐藤 駿也	1
新 宿 区	大山口 徹	1	伊 丹 市	安福 健也	1
横 浜 市	原口 洋祐	1	東 大 阪 市	丸川 智子	1

（敬称略）（令和6年4月1日現在）

支部活動報告

2024年度支部総会・講演会開催

北海道支部

1. 支部総会・講演会・懇親会の開催

支部総会は2024年5月25日(土)14時からJR札幌駅北口のエルプラザ札幌で、引き続いて同会場で講演会を15時から16時30分、懇親会は会場を移動して17時から19時まで行われました。この総会には、本部業務執行理事である高橋直也氏も出席して下さいました。

2. 支部総会

総会は石黒 基氏を議長に選任し、定則数の確認がなされ、会員総数22名に対して出席者7名、議決権行使5名、総会委任状4名の合計16名で総会の成立が確認され進められました。

支部総会の提案議案は、①事業報告、②会計決算報告、監査報告、③支部役員等の選任、④事業計画、⑤会計予算計画が提案されました。

報告案件である①、②は、全会一致で承認されました。事業報告では月例会として幹事会及び研究会の実施、新年会の実施、函館地区の合同会の開催、支部ホームページ開設準備完了（6月から公開）などが報告されました。

③支部役員等の選任は、立候補した須川清一氏の支部長再任、島尻氏・松田氏・小笠原氏（新任）の副支部長、石黒 基氏の幹事長等の提案がなされ、全会一致で承認されました。また、新たに黒田重雄氏（北海道大学名誉教授、元北海道大学経済学部教授、経営学博士）を顧問に招くことを決定しました。

④の活動計画及び⑤の予算計画は、札幌、函館、帯広地区での会員の拡大に向けた講演会を支部会員及び顧問等の講師による実施を決めたほか、毎月土曜日に実施していた月例会の時間のすべてを研究会に当て、幹事会はズームで開催することが承認された。研究会の内容は、経営概論の基礎学び、会員の事業についての研究、MPPなどのケース分析に取り組むこととしました。

総会の最後に、新たに本部東日本ブロック理事に就任予定の石黒 基氏から沢山の方からの推薦の感謝と抱負が述べられました。

3. 講演会 テーマー「ビジネスが生み出す価値と競争力」

玉井健一氏（小樽商科大学大学院教授、産学官連携推進部門長）を招いて、「ビジネスが生み出す価値と競争力」と題する講演会が持たれました。

「日本の経済力」の現状では、GDPでドイツに抜かれ4位に転落するなど日本の競争力の低下が見られ、付加価値創出力を問い合わせ直す必要性を指摘し、そのために価値の本質、競争力の事業戦略を考え直す必要があることを提唱された。「競争優位の戦略と価値」では、低収益ポジションから高収益ポジションへの移行、業界内での競争優位の戦略、同質的な競争の回避による高い収益性の確保、また、競争優位の源泉と競争範囲から低コスト化と差別化の両方の確保（戦略を一つに絞るスタック・イン・ミドルでないポジション）などの紹介と、さらに顧客の利益の増大へ対応することによる高い利益の確保の視点についても述べられ、顧客価値と原価の関係が説明されました。「競争戦略の構成要素」では、意思決定項目（いかに、誰に、何を）、競争方法に関わる戦略として、イメージ、サポート、品質、デザインの差別化を通して顧客価値増大について事例を説明されました。競争範囲に関する戦略では、特殊化、多様化の両面から考えられる戦略について説明された。

本講演を聞いて、経営学の競争優位戦略の捉え方が顧客志向の多様性などを受けて、提供する商品やサービスの多様性が進み、戦略の組み立て方も顧客価値の拡大にどのように対応するかの視点から戦略立案する方向にシフトしているように感じました。

4. 懇親会

懇親会では、講師の玉井健一氏、顧問に就任された黒田重雄氏、本部理事の高橋直也氏も出席頂き、経営に関する話が弾む場となりました。

（記載者、須川 清一）



東北支部 活動報告

東北支部

1. 定期報告会、ブラッシュアップ研修会、昼食会、講演会を開催しました。

開催日 令和6年6月1日（土）

開催場所 仙台市青葉区一番町2丁目7-12

参加者数 21名

スケジュール

10:00～11:00 会員ブラッシュアップ研修会

講師 経営士 寺坂 重樹 氏

テーマ 『プライム企業の潜在的課題を顕在化した営業設計と欧米との比較』

寺坂氏は、世界大手の米国系流体コンポーネントメーカーの日本法人にて、エリアマネージャー、営業所長を経て独立、今回の研修では、日本企業の現在抱えている課題と欧米企業の先進事例を比較することにより、日本企業の進むべき方向についての寺坂氏独自の視点で講演頂きました。

11:00～11:30 定時報告会

山下支部長が議長になり提出議案全議案原案通り承認されました。また、支部役員改選では、山下健二支部長が再任されました。

11:30～13:00 昼食会

13:00～14:30 講演会

講師 中小企業診断士 鈴木 正敏 氏

テーマ 『管理会計のススメ』



コロナ禍で中止していました講演会を5年ぶりに開催することが出来、今回は、会員の紹介で診断士の鈴木氏にお願いし、管理会計について、事例を用いて「変動損益計算書への変換」や「損益分岐点図表の作成」を学び、改善計画までの流れを説明頂きました。終了後、質問や意見交換も行われ、学びの多い講演会となりました。

2. 東北支部 第7期経営士補養成講座を開催します。

東北支部では、第7期生を募集します。顧問先、支援先の企業等にお知らせ下さい！！

期間 令和6年9月7日（土）から11月9日（土）の5日間 10:00～17:00

受講時間 30時間・土曜日5回・1日6時間

会場 深田会計マネジメント研修室（仙台市青葉区一番町1丁目1-31 山口ビル2階）

定員 10名程度（少人数授業）

受講料 77,000円（税込）資料代を含みます。

申込締切 令和6年8月3日（土）

■東北支部へのお問合せ ご連絡は ホームページよりお願いいたします。

<https://www.keieishi-touhoku.jp/>

2024年度北関東支部総会

北関東支部

北関東支部 会計担当 松岡

2024年度 北関東支部総会

日 時 2024年5月18日（土） 13:15～16:10
会 場 ヤマダ電機LABI高崎バンケット（総会はZOOM併用）
出席者 梨山支部長、松岡支部会計、高橋理事（東北支部）
臼井栃木県会長、木村新潟県会長、粉川会員
大内茨城県会長、塚本会員、塚本明子会員
ZOOM 竹俣ブロック理事 石黒会員（次期ブロック理事候補）

北関東支部は、県会活動を中心とし支部は県会のサポートと位置付けています。支部の事業は、上期の支部総会と下期の支部MPPの2つだけです。支部の事業は5県会の持ち回りで開催しています。本年の支部総会は、高橋理事（東北支部）にご出席いただき高崎市で開催しました。13:15～ZOOMとのハイブリッドでスタート、支部長の挨拶後、高橋理事、竹俣ブロック理事、石黒次期ブロック理事候補の順番でご挨拶をいただき、議事に入りました。

- ・2023年度事業報告・決算報告、2024年度事業計画・予算案
支部の事業報告・決算報告、事業計画・予算案が説明され、異議なく全て承認されました。
次に各県会の報告があり、欠席の長野県会と群馬県会は支部長が代読されました。
- ・支部長及び支部役員選任
臼井副支部長より、支部長の立候補がないため幹事会で梨山会員の推薦を決定し、本人の了承も得た旨の説明があり異議なく梨山会員の支部長就任が承認されました。支部役員は、梨山支部長の提案通りで決定、次期会計候補は、引き継ぎを考慮し検討することになりました。
- ・支部MPP
本年の支部MPPは、10月26日（土）・27日（日）上田市（長野県会主管）の予定でしたが、長野県会の事情により日程はそのままで、開催地を新潟市に変更することになりました。
- ・情報戦略委員会（旧広報委員会）の件
粉川委員より経緯の説明と当初の予定とかなり変わってきてるので、専門性のある会員に交代した方が良いと思うとの発言があり、支部長から候補者のいる茨城県会に検討依頼がされました。

総会終了後、現地参加者による意見交換が行われ、有意義な支部総会になりました。

支部役員

支 部 長 梨山 一宏（新潟）
副支部長 臼井 邦夫（栃木）、木村 泰博（新潟）
幹 事 大内 雅功（茨城）、赤羽 博（長野）
会 計 松岡 繁（茨城）
監 事 茨木 智（長野）、角田 登（群馬）

以上

今年度は、埼玉支部を根本から立て直すことが主たるテーマです。ここ数年、支部主催の研究活動などが行われておらず、セミナーを企画しても会員が数名しか参加しないという状況が続いています。そこで、有志によるプロジェクトを立ち上げました。収益事業や研究活動など、会員の満足度を高める活動を企画し、取り組んでいこうとしています。支部間交流会などもできればと思います。

全国の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

■活動実績

開催日	活動項目	おもな内容、特記事項等
4月12日(金)	4月度幹事会	総会内容、実施要領、出席案内 懇親会企画、内容確認
4月26日(金)	4月度臨時幹事会	総会準備状況の直前確認 全国研候補会場、引継ぎについて
4月29日(月)	支部総会開催	環境経営士の方にも参加していただいた
5月4日(土)、6日(月)	5月度幹事会	参加者が揃わないので、2回開催 全国研開催準備に向けて
5月28日(火)	5月例会	「持続可能な社会と事業を実現するには」 会員報告後、研究テーマについて意見交換を行った

■2024年度埼玉支部 活動計画概要

1. 活動基本方針

- 1) 会員同士の交流を促進する。
- 2) 会員の能力向上に役立つ活動に取り組む。
- 3) 会員の能力を活かせる収益事業化の検討を進める。

【目標、目指す姿】

- ①会員の3割以上の人気が例会に参加している。
- ②テーマを設定し、毎月定期的に研究活動が行われている。
- ③2025年度以降、数値目標を設定した事業計画に基づいて活動できるようになっている。

2. 重点取組課題

- 1) 会員同士が気軽にコミュニケーションでき、また情報を共有できる環境を整備する。
 - ①Chatwork等の導入検討：会員同士が気軽に意見交換できる場、プロジェクトの補完機能として。
 - ②Zoomで雑談会：特別なテーマを設定せず、気軽に雑談する機会を月に1回程度開催
 - ③勉強会や親睦会などリアルでの顔合わせを年に2回は行いたい。
- 2) プロ人材としての能力開発の場をつくる。
 - ①「持続可能な社会づくりと事業経営」をテーマに、これから時代における企業、団体の在り方や果たすべき役割について研究を行う
 - ②これから時代に経営士、コンサルタントに求められる資質や支援内容等を学ぶ
- 3) 61期経営士養成講座の企画、運営
- 4) 全国研究会議埼玉大会の開催準備
- 5) 会員の専門分野、得意技を活かした収益事業化の検討
- 6) 会員増強と地域での認知度の向上



(支部総会後の懇親会)

4月、5月の千葉支部の幹事会・運営委員会は、引き続きハイブリット方式により開催しました。

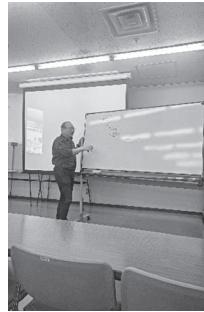
■活動内容

① 4月幹事会・運営委員会・3Cの会

開催日時：2024年4月27日（土）13:00～17:00 第1・2部中央公民館（第6集会室）（ZOOM併用）
参加者数：リアル参加9名、ZOOM参加0名 合計9名

（第1部）12:30～14:00

- (1) 4/19の理事会、理事支部長会議の模様
- (2) 千葉支部70周年祈念事業の検討
- (3) 千葉県経営者協会への2025年度セミナーの提案のたたき台
- (4) 新規推薦会員の状況
- (5) その他



（幹事会・運営委員会・打合せの様子）

（第2部）打合せ 15:00～17:00

- (1) 経営士養成講座受付準備について
- (2) 第69回定時報告会準備について
- (3) その他

経営者協会と千葉支部の取り組みについては、「中小企業向けChatGPT活用法」という内容でプレゼンを実施している。7月に本提案予定。総合タイトルで複数のセミナー内容を提示する。お困りごとの答えがすぐに返ってくる無料サービスの提供を検討している（「教えてアムシー（AMC）」）。

令和6年度予算についても検討を行った。

海外人材活用についての事業案の検討等も行いました。

② 5月幹事会・運営委員会・3Cの会

開催日時：2024年5月11日（土）13:30～16:30 プロム船橋会場（定時報告会のみZOOM併用）
参加者数：リアル参加10名、ZOOM参加1名 合計11名

【第一部】「幹事会・運営委員会」

- (1) 5/9の千葉県経営者協会への提案模様
- (2) 定時報告会リハーサル（幹事会後）
- (3) その他



（定時報告会の様子）

【第二部】「第69回定時報告会」

- (1) 令和5年度事業報告の件
- (2) 令和5年度収支報告の件
- (3) 令和5年度監査報告の件
- (4) 支部長選任と新執行体制報告の件
- (5) 令和6年度事業計画（案）の件
- (6) 令和6年度予算（案）の件
- (7) 千葉支部報酬規程の支払いの件

※定時報告会後に、会員交流の時間を設けて、経営者協会への提案内容などの議論を行いました。
※懇親会も当日開催いたしました。

③ 第60期経営士養成講座

2024年5月18日から第60期経営士養成講座を開始しております。

他支部の講師の皆様におかれましては、経営士養成講座へのご協力をご快諾頂きましたこと、御礼申し上げます。

養成講座期間中、何卒宜しくお願い申し上げます。

以上

（写真提供：金子 昌夫幹事、記：須藤 英幸）

東京支部総会報告

東京支部

東京支部は、支部長を2023年度まで務めた大蔵充夫に代わり、本年度、新支部長を戸田裕之として新体制でスタートしました。2024年度の支部役員・スタッフを下記にご紹介いたします。よろしくお願い申し上げます。

支部長 戸田 裕之／副支部長 土橋 留美子
 幹 事 末澤 宏明・伊藤 雅和・坂本 充・
 張替 信子・齋藤 潤・日野 隆生
 監 事 小林 正典・赤津 長弘
 運営委員＆サポートスタッフ
 大蔵 充夫・石原 群司・高瀬 祐太
 (順不同)



支部運営の仲間も随時募集中です!

2024年度 東京支部 総会&交流会

5月25日（土）13:30～17:00

TIME SHARING四谷にてリアル開催

第一部 13:30～14:30 報告会

第二部 14:40～16:30 交流会

例年、オンラインにて総会を実施しておりましたが、今年は久しぶりの対面開催でした。



報告会は22名のご参加を頂き、2023年度活動報告・決算報告および2024年度活動計画・予算計画を報告、ご承認頂きました。交流会においては環境経営士など21名のご参加を頂き、それぞれの自己紹介の後、ワークショップ「NASAゲーム」を実施、初参加の方を交えて賑やかに開催、終了後は場所を変えて懇親会を行い互いに交流を深めました。



<アンケート結果>

大変良かった	(57%)
良かった	(43%)
どちらでもない	(0%)
少し不満あり	(0%)
大変不満あり	(0%)

- ・みなさんとの出会いにとても感謝しております。
- ・普段、直接お話すことのない会員の方々と交流することができて、とても有意義な時間を過ごすことができました。NASAゲームがとても興味深かったため、またの機会に、同様のゲームを楽しみたいと思いました。

- ・単なる「自己紹介」から一歩踏み込むにはどうしたら良いか考えさせられました。持ち時間厳守（3分や5分）で一番伝えたいことにフォーカスした方が記憶にも残りやすいかと思いました。
- ・初めての参加で、みなさんがフレンドリーでした。熱意のある方々だと感じております。こういう報告会に参加したことはないので、リアルとZOOMのハイブリットでの開催でもよいと感じました。女性の参加が少ないと感じました。
- ・ずいぶんと参加メンバーの顔ぶれが変わってきたと感じました。一木会とTAMA研のメンバーが入ればもっとちがったかなと思います。
- ・多くの人が若返ったので楽しく会話が出来ました。

今後の東京支部行事予定（セミナー・イベント等）

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
MPP SDGs 研究会	MPP				MPP				MPP
		中小企業白書 セミナー		SDGs 研究会		屋外 イベント	X'mas ナイト	SDGs 研究会	15 交流会
		23 交流会							

支部長就任挨拶

南関東支部

南関東支部長 伏見 靖

このたび、南関東支部長を拝命いたしました伏見と申します。私は2021年に経営士登録をしたばかりの新参者ですが、このような重要な役割をさせていただいたことに深く感謝すると共に、身の引き締まる思いでございます。私の専門分野は「知的財産コンサルティング」及び「技術倫理」であり、経営士会では少し変わった存在です。

南関東支部は、神奈川県・静岡県・山梨県と3県に跨っており、110名余りの会員（正会員・準会員・賛助会員）が所属しています。しかしながら、ここ数年のコロナ禍の影響及び日本経済の停滞により、経営士としての活動の機会、及び、メンバー相互の交流が減少している現状があります。

そこで、南関東支部としては、①支部メンバー間の情報交換を積極的に行うため、Zoomを用いたWeb会議、及び、実際に顔を合わせる会合（研究会や学習会）で交流を図る機会を開催し、②NotionやSlack等のグループウェアを活用することでネットワークを強化し、③メンバーの知見を活かして事業収入の獲得を図る事業化活動を推進したいと考えています。

南関東支部が、経営の専門知識を深め、地域社会に貢献する拠点となるよう、全力を尽くすと共に、持続可能な経営とイノベーションの推進に注力し、支部メンバーの皆様と共に、新たな価値を創造していきたいと考えております。南関東支部を、より一層魅力的な組織へと成長させていく所存ですので、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



◆支部研究会

テーマ：「経営観を養う（イスラエル・パレスチナ編）」

講 師：江口 敬一

開 催 日：2024年4月13日

開催場所：中日メディアブレーン研修室



パレスチナ街中風景

社長が経営コンサルタントに求めるものは、経営者自身ではない、新たな視点や考え方である。経営計画の策定や経営管理上の意思決定、経営判断のベースとなるのが“経営観”であり、それは社長自身の「経営の全体像と問題の本質を観る、視点と考え方」のことである。解決すべき経営課題や問題が、社長の経営観の範疇に収まらない場合、社長は経営コンサルタントに新たな視点や考え方を求めるのである。

経営観を養う教養は、「見識」と「思考法」である。「見識」とは知識と知見であり、知識は他者から得られる情報、知見は自身の見聞、体験から得る情報のこと。また「思考法」とは、創発に必要な考えを整理したり、見直したりする方法のこと。社長に新たな視点や考え方を提供するには、共有する事象を例えに示唆する方法も有効である。「経営の全体像と問題の本質を観る、視点と考え方」の“経営”を“○○”に置き換えればよいのである。

今回は、講師が2019年1月にイスラエル、パレスチナを視察し、現地で得た知見も交えて、“経営”を“イスラエルとパレスチナ”に置き換え、歴史、宗教、民族、地政学の視点からイスラエル・パレスチナ問題の全体像をどう捉えるか、それにより新たな考え方を得られるなど、経営観を養うためのワークショップを行った。「紀元前19世紀、ユダヤ人がメソポタミアからパレスチナへ流入した歴史の原点から、気候と民族移動の視点で問題の全体像を考える」、「パレスチナ隔離壁の描画から、バンクシーの視点で現状の背景と問題の本質を探る」など、新しい視点、考え方を模索し、経営観を養うことを試みたセミナー、ワークショップであった。



エルサレム嘆きの壁と岩のドーム



ヨルダン川西岸地区隔離壁



海面低下が進む死海

◆支部研究会

テーマ：「情報セキュリティ基本のき」

講 師：大橋 康子

開 催 日：2024年5月11日

開催場所：中日メディアブレーン研修室



講師：大橋 康子

企業や組織においては、たった一人の不注意が、コンピュータウイルス感染や情報漏洩といった脅威につながることもあります。今回は「情報セキュリティ基本のき」と題して、脅威の具体例とその対策をお伝えしました。

2020年1月6日以降、新型コロナウィルスの感染拡大を受け、「感染拡大を防ぐためリモートワークを実施した」企業の割合は、政府の1回目の緊急事態宣言時（2020年5月28日から6月9日）には56.4%でしたが、その半年後（2020年11月）における業種別のテレワーク実施率を見てみると、情報通信業（55.7%）、学術研究／専門／技術サービス業（43.2%）や金融業／保険業（30.2%）において高い実施率を維持している一方、医療／介護／福祉（4.3%）、宿泊業／飲食サービス業（11.1%）や運輸業／郵便業（11.3%）では、実施率は低迷していました。（総務省HP参照。）

しかし、当時から約3年が経過した現在では、医療福祉、飲食サービスの分野でもデジタル化が進みました。働き方は変わる、変えざるを得ない真っ只中なのです。



やってしまった・・・

聴講された皆様からは、見聞きした事例の共有をいただき、その対策方法についてお伝えしました。そして、一人一人が情報セキュリティ対策の必要性を理解し、自覚を持って取り組むことが必要であるとの認識を深めていただけたのではないかでしょうか。

これからも、情報セキュリティの重要性についてお伝えしていきたいと思います。

（記：大橋 康子）

◆令和6年度中部支部総会報告

令和6年5月11日午後4時より名古屋市中区栄2-11-30 セントラルビル会議室において、令和6年度一般社団法人日本経営士会中部支部総会を開催した。出席・委任状議決権数は、総議決権数の過半数以上に達し総会は成立、大橋康子会員が議長に選出され、1号議案から6号議案までの全議案が満場一致で可決、承認された。

1号議案 令和5年度事業報告

支部研究会、講演会、コンサルティング演習、「メッセナゴヤ2023」出展、経営士補養成

講座、環境経営士養成講座、環境経営士フォローアップセミナー、エコステージ事業、メールマガジン「日本経営士会中部支部通信」、石川・富山経営支援センターでの会員研修会、昼食定例会など、令和5年度に実施した事業活動とその実績が報告された。

2号議案 令和5年度収支報告

3号議案 令和5年度収支監査報告

令和5年度の収支報告があり、監査報告書に基づき監査報告が監事よりなされ、令和5年度の収支及び同年度末の財産状況は、適切であることが報告された。

4号議案 令和6年度支部幹事・監事選任（以下の通り選任）

幹事：江口 敬一（支部長）、大橋 康子（副支部長）、今枝 健治（会計担当）、

林 広高、溝口 知秀、若村 正志、田積 寿規、霜侑 樹、旗 正男、

桑名 光明

監事：近藤 守邦、服部 正雄

5号議案 令和6年度事業計画

今期の支部事業として、支部研究会、講演会、コンサルティング演習、「メッセナゴヤ2024」出展、経営士補養成講座、環境経営士養成講座、エコステージ事業、メールマガジン「日本経営士会中部支部通信」、石川・富山経営支援センターでの会員研修会、昼食定例会など各事業の実施計画が報告された。

6号議案 令和6年度支部予算報告

予算計画書に基づき令和6年度支部予算報告がなされた。

支部総会の最後に新支部長の江口氏が、「今期は、中部支部としての運営理念、ビジョン、事業ドメインを明確にし、中長期的な事業計画を立てる準備期間と位置付けています。支部会員、中小企業経営者の皆様から存在価値を認められるよう、会員皆様のご支援、ご協力のもと、課題を一つひとつ解決し、魅力ある中部支部を目指し、支部事業計画の遂行に努めます。」と出席者に新任の挨拶を行い閉会した。

総会後には懇親会が開かれ、和やかな雰囲気のもと会員相互の交流を深め合いました。



支部総会の様子



懇親会の模様

近畿支部活動報告

近畿支部

◆令和6年度近畿支部総会

- ・開催日時：令和6年6月8日（土）13：30～14：30
- ・会場：エル・おおさか 6階研修室4
(大阪市中央区)
- ・出席者：10名
- ・議長：國廣支部長、司会：上田幹事
- ・議案承認：総会議決数49名
出席議決権数35名（委任状含む）



(近畿支部総会参加者)

國廣支部長の挨拶の後、物故会員（鈴木祥浩会員・本会元副会長）への黙祷を行い、哀悼の意を表した。本総会は、支部に関する規程第12条により、國廣好行支部長を議長に選任し開会、議案審議議事に入った。

議事録署名人について議長が本日出席役員の國廣好行氏及び水田裕子氏の2名を指名し、全員異議なくこれを承認した。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ・第一号議案 令和5年度事業報告 | (松下幹事報告) |
| ・第二号議案 令和5年度会計報告
監査報告 | (水田副支部長報告)
(松下幹事代理報告) |
| ・第三号議案 令和6年度役職選任承認の件 | (國廣支部長説明) |
| ・第四号議案 令和6年度 事業計画 | (松下幹事説明) |
| ・第五号議案 令和6年度 予算案 | (水田副支部長説明) |

議長が各議案について諮ったところ、満場一致で原案は承認可決した。

議長は、議事を終了した旨を述べ閉会を宣言した。

総会終了後、支部交流会を開催。

- ・開催日時：15：00～17：00
- ・会場：レッヂェ（大阪市中央区）
- ・参加者：12名

交流会からの参加者も加わり、事前に提出した各自の自己紹介シート（欠席者からも複数提出あり）を活用しながらリアルに顔を合わせ、有意義な交流の時間をもつことが出来た。今年度は、オンラインでの支部行事の充実を予定しているが、今後の支部活動の活性化を図るため良きスタートとなった。



(近畿支部交流会参加者)

(近畿支部 幹事 松下暢子)

支部活動報告

中国支部の会員増強プロジェクト開始!!

中国支部

中国支部の2024年度の目標は、「私たちは連携の輪を広げることで、新たな価値を創造します」です。そのため、社会に対しては「共創する社会づくり」を、会員に対しては「新たな価値の創造」に務めるとビジョンに掲げています。

次の展開が、今までにない構想です。

A 入会者にウェルカムミーティングの開催

中国支部は、昨年の全国大会前後から、8名の方（手続き中含む）に入会していただいている。私共は正・補に限らず、賛助会員で経営士会とご縁を作っていただき、徐々に関係性を深めていこうと考えています。

現在、入会段階では次のデータを共用レンタルサーバーE-deskを通して、お渡ししています。

- ・一般社団法人日本経営士会規程・入会会員案内・中国支部総会資料・組織図

しかし、それだけでは、一方通行となるため、入会された方にメンターを置いて、事細やかに情報共有できるように、ウェルカムミーティングを6月22日にZOOMにて開催しました。直後に行った幹事会にも会の動きを理解するために参加して頂きました。

- ・ウェルカムミーティングの開催・日程調整（近日開催で準備）
- ・内容の充実とスムーズな進行
- ・新入会メンバーへのメンター（サポーター）の決定
- ・資料の準備（自己紹介シート、活動紹介シート等）

コロナ禍を脱した今、顔を合わせる機会を大切にしていこうと考えています。

B 気楽に集う機会を作る「缶ビール・ジュース・ビジネス交流会」

会員増強の幹事を中心に、輪を広げる機会として岡山（8月）・広島（10月）・山口（12月）にて「缶ビール・ジュース・ビジネス交流会」を外部に発信して開催します。

経営士会は、経営、生産、販売、人事、財務、情報の6領域で様々な業種・職種の人々が地域のために活動しています。それぞれがwin-winの関係であるからこそ連携によるビジネスに発展することも可能です。

いろいろな方々と、井戸端会議のような感覚で交流ができたら、まずの成功です。

気軽に参加・交流していただける機会から作っていきたいと思います。

C 特別企画「国内トップランナー登場! DX×AI×M&Aで地方から日本創生」を実施

現在のところ、冬期に広島大学との連携によって、講演会を開催予定です。日本の先端を走っている若手経営者を迎える、業界や地域を超えて発信していきます。ここが今年度の最大イベントです。全国からのご出席も大いに期待し、歓迎いたします。再度広島へおいでください!!

（記 井上 隆・河野 佳苗・中谷 泰久・板平 憲洋・小原 啓子）

インフォメーション

行事・講座・セミナーのご案内

行事・研修・セミナー	日 時	開催場所	詳 細	申込方法等
第84回環境経営士 養成講座(ベーシック)	9月14日(土) 10:00~17:30	ZOOM配信	受講料 15,000円	——
第84回環境経営士 養成講座(アドバンスト)	9月21(土)、22日(日) 10:00~17:30	ZOOM配信	受講料 30,000円	ベーシックコース 受講者27,000円
経営支援アドバイザー 育成講座(ELearning)	7月から1カ月単位 (毎月募集)	録画配信	受講料 27,500円	リカレント 受講あり
SDGs経営士養成講座	8月10日(土)、17日(土)、 18日(日)、24日(土)	ZOOM配信	お持ちの資格に より受講料が 変わります	——
M&A支援アドバイザー (仮称)育成講座	7月27(土)、28日(日) 10:00~16:00	ZOOM配信	受講料 22,000円	——
近畿支部MPP	9月28日(土)	神戸市中央区 文化センター	——	——
AMCJクロッシング	偶数月第2日曜	ZOOM配信	年2回 リアル開催あり	——
次世代リーダー道場	毎月第2、第4水曜日の 19:00~21:00	ZOOM配信	お試し参加 受講料:無料	——
東北支部 第7期経営士補養成講座	9月7日(土)~ 11月9日(土)	深田会計 マネジメント研修室	受講料 77,000円	5日間 10:00~17:00
北関東支部 MPP	10月26(土)、27日(日)	新潟	——	——

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。

*磯部 正美 (No. 2022 北関東支部)
(享年 77 歳)

*梅本 泰則 (No. 5347 中部支部)
(享年 75 歳)

Management

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management

Consultant